

今月の聖句

『ひとりよりもふたりが良い。
共に労苦すれば、その報いは良い。』
コヘレトの言葉 第4章9節

◎ 10月の予定

- 3日(火) 入学願書受付(小)〜4日
- 5日(木) 時間割変更期間〜14日
- 6日(金) 校内研修会・SAの集い
- 7日(土) 神奈川県中学校総合体育大会(陸上)
- 12日(木) 転入願書受付(小・中)
運動会予行練習
- 14日(土) 運動会
- 16日(月) 運動会予備日(運動会代休)
- 18日(水) 内部進学願書受付〜19日(小)
- 20日(金) 入学考査(小)・自宅学習日(小)
- 21日(土) 入学考査(小)
- 24日(火) 教職員協議会
- 26日(木) 秋の遠足(小)
- 26日(木) 修学旅行(小)〜27日
- 31日(火) 修学旅行(中)〜11月2日

◎ 11月の予定

- 1日(水) 秋の遠足(中)
- 8日(水) 授業参観〜9日
- 10日(金) 内部進学者考査〜11日
自宅学習日(中)



七十周年記念礼拝

9月22日に創立記念礼拝が行われました。午前中は学園全体で、午後には来賓の方方を招いた壮大な式典になりました。

改めて、ステパノ学園に携わってくださるすべての方々に感謝申し上げます。



◎今月の行事から

【運動会】 10月14日(土)
プログラムを検討し、ひさしぶりに一日開催の運動会が復活します。子ども達が安全に、そして本気で取り組み、お互いの健闘をたたえ合うことができる一日になって欲しいです。

【修学旅行】

小学校 10月26日(木)〜27日(金)
中学校 10月31日(火)〜11月2日(木)
小学校は、一泊二日で京都に出かけます。現地では貸し切りバスを利用し、古都京都の名所(金閣寺・銀閣寺・清水寺・三十三間堂など)を回ります。

中学校は、広島・兵庫方面に二泊三日で出かけます。広島では平和教育を主たる目的として原爆ドーム、平和記念公園などを中心に回り、学びを深めます。他にも厳島神社や白鷺城の愛称を持つ姫路城も見学予定です。

【秋の遠足】

小学校 10月26日(木)
中学校 11月1日(水)
小学校は1〜2年生が平塚総合公園、3〜5年生が雪印メグミルク(海老名)の工場見学、神奈川県総合防災センターで災害時の身の守り方を学んでいきます。



中学校は1〜2年生が川崎の東芝未来科学館、電通四季劇場「海」に行き、劇団四季のミュージカル『アラジン』を鑑賞して来ます。



『ステパノらしさ』を求めて

校長 佐藤 紀明

9月22日、聖ステパノ学園創立70周年記念礼拝・記念式典を迎えることができました。

午前は、日本聖公会横浜教区、島田司祭の司式により、在校生と教職員で創立記念礼拝をお捧げしました。咲間教諭の永年勤続表彰の後、本校ハンドベル部の演奏と本校音楽科の能條講師によるピアノコンサートで在校生、教職員は、とても楽しい時間を過ごせました。

午後は、ご来賓をお招きして島田司祭の司式、日本聖公会横浜教区、入江主教に説教・祝福をして頂き、創立記念礼拝をお献げしました。礼拝の最後に、澤田先生の『愛唱聖歌』である聖歌465番を全員で賛美しました。

創立記念式典は、森田理事長挨拶、ご来賓を代表してキリスト教学校教育同盟の嶋田総務理事、神奈川県私立中学校高等学校協会の工藤理事長から心温まるご祝辞を賜りました。

前理事長・学園長の小川先生のご講演は、小川先生の聖ステパノ学園への想い、願いを改めて感じることができました。お元氣な姿を拝見でき講演を聞いて本当に良かったです。

講演の後は、学園チャペルにプレート板を寄贈して下さった菅家工務店の菅家社長に感謝状を贈呈しました。また、これまで長きに亘って、学園発展にご尽力くださった小川先生に功労者表彰をさせて頂きました。



創立当時と現在の様子を児童・生徒が校歌を歌い、映像として紹介しました。澤田先生が作詞された校歌、明るい笑顔の子ども達の様子、学園の歴史を感じて頂けたと思います。

記念コンサートは、ソプラノの鈴木さん、フルートの高瀬さん、ピアノの鈴木さんによる素敵な歌声と美しい音色が、ホールの景色にマッチして心に響くコンサートでした。

最後は、希望された方々に澤田美喜記念館の隠れクリスタル遺物を見学して頂きました。当日は、日本私立小学校連合会の重永会長、教会関係者、聖公会関係者校長、キリスト教教育同盟関係者校長、私立・公立の小学校・中学校・高等学校校長、大磯町長、大磯町教育長、町議会議員、関連団体・企業、学園理事・評議員、学園旧職員、保護者・卒業生代表、ESH、学校医など、本当に多くの方々のご臨席を賜り、支えられて、この良き日を迎えることができました。厚く御礼申し上げます。

コロナ禍で十分な準備期間がない中、教職員が一致団結して、『ステパノらしさ』を感じて頂けるようにと準備を進めて参りました。

聖ステパノ学園はとて小さな学校ですが、子ども達は毎日、謙虚な気持ちで礼拝をお捧げし、キリスト教的な雰囲気の中で、明るく伸びやかに生活しています。教職員も使命感を持って携わっています。子ども達に『愛』をもって接し続けた澤田先生の創立の理念を忘れることなく、これまでの良き伝統を守り、『ステパノらしさ』を求めて歩んでいきます。

70周年記念式典を終えて想うこと

教諭 高橋 謙二

先日あるテレビを見ていた時に、熟年の俳優たちが、「若い時はどのようなしたら演技が更に上達するのか、悩み考え必死になって練習し、演技レベルを上げ、変えることができたが、年を重ねることに難しくなり、40歳以降は、結局自分自身の『生き様』が自然に演技になる」という話を聞いたときに、まさに教職員の仕事の姿勢や児童生徒、保護者との関わり方も、今までどのような生き方をしてきたかに比例すると感じました。

さて、先月は皆さまのお力添えで、無事に70周年記念礼拝式典を終えることができました大変感謝しております。式典の中で前校長小川正夫先生の講演があり、お話を聞きながら小川正夫先生や他の教職員と過ごした日々を思いおこす機会となりました。また、入江修主教、嶋田順好先生、工藤誠一先生らのお話からは、戦後の社会情勢の中で行った混血児の救済、聖ステパノ学園創設者澤田美喜の強い意志と使命を感じ、上辺だけでなく、真のキリスト教学校として、他のキリスト教学校にはできない、聖ステパノ学園のとしての使命、やるべき仕事、立ち位置を教職員全員で確認することができました。本当に感謝の言葉がつきません。私自身多くの失敗を繰り返してきた中で、自分の思いや気持ちだけで進

むのではなく、年長者として全体を捉えて進めていかねばならないことを再確認することができました。何人かの教職員に話したことです。「今のような変化のスピードが速い時代に、現状維持は退歩につながり、型にはまらず失敗しても良いから、少し動かし、視点を変えることが大切で、そうすることによって、止まっていたものが動き出し、今やっていることの良さや問題点も検証できる。先ずやってみること。それには、いつでも動けるように、子どもたちや教職員の状態や状況の変化をキャッチする感覚が大切。そして、動かす勇気がなければならぬ。大きく変える必要はなく、整えるくらいを意識して、手をいれる感覚が良い。意図無くそのままにしないことが大事だよ。」と、これは自分自身がそうしていかなければならないという決意でもあります。

どなたの言葉か憶えていませんが、「思いと言葉は、本心でなくても語れるが、その人の行動自体は嘘をつかない。」

今思い起こすと、小川正夫先生は、色々な意味で凄かったです。当初から、教育活動に力を入れていたのは勿論ではありますが、自ら先頭に立ち、清掃活動などを行い、環境整備にも徹底し力を注ぎ、学校づくり（改革）をしました。目に映る海の見えるホールなどを建てたことが目立ちますが、決してそうではなく、聖ステパノ学園を改革する使命があり、言葉や文章で語るだけでなく、実践力、

行動力、決断力をもって今の聖ステパノ学園を構築しました。人にやらせるのでなく、自らが動き、情熱をもって、仕事を探し、臨む姿から多くのことを学ぶことができました。小川正夫先生を始め、故嶋田孝行先生、五十嵐孝子先生、故中村弘之先生など、この学園に携わり退職された方々の生き様は私が仕事をする上での軸となり指針にもなっています。先生方に共通するのが、何気ない日常での気遣いがあり、自分のことより、学校全体、教職員、子どもたちの事を考え、自分が嫌われることなどを恐れず、自分の役割を常に意識し、いつでも先を見ていました。やり方はそれぞれでしたが、場当たりの対応や口先だけの対応でなく、必ず最後は逃げずに責任をとる覚悟があり、教職員は安心感があり、冒頭での生き様が伝わってきました。

これからも「先生方、協力お願いします」ではなく、自分自身の姿（生き様）から、自然に教職員が協力する環境を整え、前に進むことができるような学校の雰囲気づくりをしていかなければならないと想いました。現在、私は、小2の担任をしています。子どもたちや保護者の方々と向き合う中で、自分の生き様がどのように伝わっているかとても不安ですが、今までの教職員の方々の姿勢を引き継ぎ、上辺だけでなく、真のキリスト教学校として聖ステパノ学園を担っていく覚悟です。これからも、宜しくお願い致します。

〈若手教諭による座談会〉

小学校3年担任 佐々木 心
中学校1年担任 露崎 志苑
中学校2年担任 石川 瑠一

司会—まず、聖ステパノ学園の最初の印象は？

石川—高校の同級生にステパノ出身者がいて学校の名前は知っていたんです。正直なところ、着任当初は色々と驚きましたね。でも、皆が口々にしゃべっても学級崩壊しない。ステパノの優しさ、器の大きさを感じました。

佐々木—大学生の時、教育実習のお願いをするに来校しました。キリスト教の学校を希望していたので、ワクワクしながらやって来ました。初めて校内に入った時は泣きました。感動で。

また、先生方が実習生の自分を歓迎してくれて。この子たちは幸せだなあと思いました。翌年秋に実習しましたが、その時は子ども達

達が元気良過ぎて…圧倒されました。色々準備して来たけれど、子ども達を知らないまま準備したので、授業は大失敗して…今度は違う意味で泣きました…。でも、そのままステパノに導かれ、あつと言う間に3年が経ちました。

露崎—よく言われることですが、ステパノの子は本当に素直で、教師として着飾らず、自然体で話せる子たちだな、と実感しています。

司会—「驚いた」というキーワードが出てきましたが、何が「驚き」ですか？

佐々木—今、露崎先生もおっしゃったけれど、先生と児童・生徒ではなく、皆が人として接し



ている、ということに驚きでした。いい意味で学校らしくない。学校という集団という感じがするけれど、ステパノは個々でも集団でも良しとされるところが特別で良い所だと。

司会—担任になって、いかがですか？

露崎—一人ひとり、個とのかかわりが深いですね。他校では、同学年でも挨拶くらいしかしない人もいますが、ここでは全員と話し、関わっていますよね。

司会—中学ではほぼ全員の先生が全学年の一人ひとりを知っていますよね。

佐々木—小学校が特別だと思うのは、上に中学校があるという事で、小学生はいつも中学生を意識しています。年の近い人が同じ学び舎にいるって大事だな…と思います。

司会—行事等で中学生は小学生に見られている。だから中学生は責任がありますよね。

石川—今日から運動会に向けた行進練習が始まりましたが、去年はコロナ禍で無かったので、まだまだ知らないことばかりです。

佐々木—子ども達も、コロナ禍でブランクがある中で、よく歩いているな…と思いました。

司会—今朝は中学生より早く小学生が整列していました…。中学生にもよい刺激になりましたね。

佐々木—お互いにとって、良い刺激ですよ。石川—応援団長になりたいとか、こんな人になりたいとか、中学生には小学生の目標になって

もらえるといいですね。

佐々木—小学生はアコライトや行事で働く中

学生を見て「大きくなったらできる？」と聞いてきます。本当に良く見ているな、と思います。

石川—教育実習では40人を1人で見ましたが、ステパノでは20人を3人で見る…と言いますか、60人の中学生を全員の先生方が見て下さっているのは有難いです。一人なら分からない事ばかりだと思うけれど、先輩方が近くでサポートして下さっているから頑張れています。皆で見る型が制度としてできているのは他校には

無いステパノらしさで、また、そこが『距離の近さ』にも繋がって来るのだと思います。

司会—担任をやってみて大変なことは？

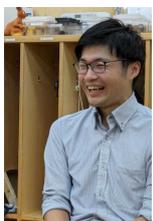
石川—昨年は副担だったので、担任の和田先生が色々やって下さっていましたが、担任になり自分が前に立つてみたら、こんなに声をかけなきゃいけない所が多いのかと。

去年は国語の授業をしていただけですが、今年は担任として国語以外の事をたくさん伝えたいといけないのが大変です。

露崎—中1は…石川先生も言っていました、伝えることの難しさは感じていて大変なんですけど、どういう伝え方なら伝わるのか考えるのも楽しいなど。また、『変化』も面白いです。

4月と比べて背が伸び、全く喋らなかつた子達が話すようになり、笑顔が増えて表情も出てきて…それはもうすごい変化なんです。

佐々木—小学校も『変化』は面白いです。教育実習で『ごんぎつね』を教えた子達が今、露崎先生のクラスなのですが、みんな大人になって



きて。以前より会話を楽しめるようになって来ました。

石川―私も今年初担任で、漠然とした不安がありました。子ども達に何か悪い変化があったら自分の責任だ、と。大学では一般的な学習と生活を学んできましたが、今は自分が持っているクラスの子とも達にあう過ごし方を考えるのがすごく楽しい。今、この子にこうなって欲しいから…とか、こうしたらウケるかなあ？と考えたり。学校にいない時も、ネタ探しをするようになりました。これ楽しいかも！これ教室に置いたら盛り上がるかな？とか、考えるのが楽しいです。

司会―佐々木先生の図工は楽しい！と思うのですが、いつもネタ探しをしているんですか？
佐々木―探しているというか、不思議と「これいいな」という物が、見ていたスマホのお勧め記事に出て来たり、ショーウィンドウのディスプレイを見て「どうやって作るんだろう!!」と調べたり。昔からそういうのが好きで、気になると、すぐそこへ行って見ちゃうんです。



司会―未来のステパノに向けたビジョンを教えてください。

石川―『勉強を教えるのが中学教師の仕事だ』
と思い、昨年は国語の授業をどうやるか…ばかり考えて過ごしましたが、今年担任になり、勉強はできるに越したことは無いけれど、勉強より大事なものがいっぱいあるし、それを学べる

のがここだな…と思うようになりました。勿論、勉強を教えるけれども、『勉強を嫌いにならない事』と『日常生活をきちんと送れる事』を大事にしていきたい。

まず『勉強』というのが自分にはあって、テストや授業準備に多くの時間を割いていますが、今年になってから、そこじゃない所を育ててあげたいと思うようになりました。もちろん『勉強、勉強』とも言いますが。それよりも…：友達とのつきあい方、距離感とか、人としてのマナー、モラル等、基本的なことができない子にあげたい。国語で百点取れるより、挨拶がしっかりできて、毎日楽しく学校に来られるっていうのが理想だと思うようになりました。ステパノらしく、今後に生きる、人として基本的な面、生活面を育てるような学校になるといいなと思います。

佐々木―ステパノの良さは、なんでもチャレンジさせて貰える土壌がある所。これは本当にずっと続いて欲しいし、私達が守っていかなくやいけない所だと感じています。一方、変えていかなくやいけない事もある。学校として閉ざされた社会の中にあるだけでなく、新しい教育にも目を向けて、普通の学校なんだけれど、いろんな子が来ている学校として、いろんな事をやってみる。いつも謙虚に、腰は低く、理想と目標は高くやっていきたいです。子ども達に楽しく来てもらえるような学校にしていけることが使命だと思っています。また、キリスト教を大切命だと思っています。また、キリスト教を大切

にしていきたいです。

露崎―ステパノにはすごくいい『何か』があると思っていて、その魅力をもっと外に伝えていけたらと感じています。学校が配信するだけでなく、ここで育った人達が外へ出て、何か違う、この人と関わりたい…と思うような魅力的な人が出て、実はステパノを卒業した、と伝わっていくのがいいなと思っています。ステパノにはここでしか学べない、いい物があると思うので、それを伝えていきたいです。

石川―一つのクラスで一緒に生活して、何かあった時に彼らに対して怒るのではなく、注意しつつ教えつつ、でも自分のやりたいこともやる。他校の子なら諦めて言わなくなってしまう子もいるかもしれないし、いじめにも繋がるかもしれない状況でもステパノでは絶対にそうならない。発言がゆっくりな子もいる。それを待って、特に文句も言わない。その土壌はすごいと思う。



佐々木―この人は『特別』じゃなく、皆が『特別』だから、あえて特別と分類しない。それがステパノ学園ですね。

司会―それぞれがステパノへの熱い思いを抱いていること、そして改めて、これからのステパノ学園を支える3人に大きな期待を抱く良い時間となりました。ありがとうございました。

【小学校】
9月2日に行われた、ステパノまつりでの感想
を、一部ご紹介します。

「おばけやしきですぞをげつとしました。くらかったです。たぴおかがおいしかったです。」(小一 Y・K)

「だがしやにいったよ。おかしをかったよ。たのしかった。おおわらいやったよ。」(小一 H・M)

「ぼうりんぐがたのしかったです。やきそばがおいしかったです。」(小一 K・M)

「いちごミルクティがおいしかったです。げきがおもしろかったです。」(小一 A・Y)



「わたしはステパノ祭でウエイターとくじびきがかりでした。ウエイターでたいへんだったのはのみのやせつめいをするのがたいへんでした。けどママとパパが来てくれてうれしかったです。くじびきも来てくれてうれしかったです。またステパノ祭が楽しみです。」(小四 M・A)

「ステパノ祭りで知らない人が来て本当の祭りだと思いました。知らないお客さんも知っているお客さんもいってとっても最高なステパノ祭りでした。」(小四 Y・T)

「ぼくは、ステパノ祭で4年生のキッサ店を出しました。みんなで力を合わせてたくさんのお客さんによるこんでもらえてうれしかったです。来年はもっといいおみせにできるといいなと思いました。」(小四 G・H)

「土曜日に、ステパノ祭をしました。4年生の店の名前は、光のこきつさてんです。いっぱい人がきてどきどきしたけど楽しかったです。私は、ジュースとおかしのほうでした。ステパノ祭来年もがんばります。」(小四 R・K)

「9/2にステパノ祭をしました。3年間食べられなかったやきそばを食べられてうれしかったです。」(小四 K・N)

「今日は、ステパノまつりでした。たくさんのお客さんがきてくれました。ぼくは、たこやきやさんでねぎごまやいろいろまわすかかりをしました。すごくみんなちようしました。たこやきがぜんぶうれてみんなに食べてもらえてありがたいです。小学校最後のステパノまつり楽しかったです。」(小六 T・I)

「今日は、4年ぶりのステパノ祭りでした。たこやきは、とても人気でした。美味しそうに食べてくれた人が、たくさんいました。さigoの方は、売り切れになりました。うれしかったです。」(小六 M・U)

「今日はステパノまつりでした。なんとか売り切って総売上は五千縁を超えました。外部の人々がたこやきの味を楽しんでくれたので良かったです。」(小六 N・H)



「カフェ」
小2 Y・K



「イモムシレース」
小2 E・T



「だがしや」
小2 I・U



「中学校」

9月2日、ステパノまつりがありました。保護者や卒業生などを招いて、賑やかな一日になりました。

中学1年 S・P

今日はステパノまつりでした。お化け屋敷で働きました。みんなに喜んでもらえてよかったです。さらに、僕はオープニングで演劇部として「ステパノ版笑点」をやりました。みんなめっちゃ笑ってました。楽しかったです。

中学1年 T・T

今日は、ステパノまつりが当日なので、とても緊張しました。

自分は、まつり実行委員で、お客さんに靴のカバーを渡す係をしました。お客さんがたくさん来てくれて、途中、靴袋がなくなってしまうしました。手が空いて来たので、靴のカバーを受け取る仕事をしました。ずっと立っているのが大変でした。来年もがんばります。



中学2年 S・H

今日はステパノまつりでした。朝の時間は、最後の確認と調整をして、いよいよ本番です。まつりのオープニングの時に、お化け屋敷はフル装備で参りました。皆から注目を浴びてお化け屋敷係として、気分が最高に盛り上がってきました。

さあ、始まりです。お客さんが次から次へとひっきりなしに来ました。大変だったけれど、嬉しかったです。小さい子は号泣している子もいました。大人も叫んでいました。大成功です。



まつりは準備期間がとても短くて、その間はプレッシャーもありましたが、僕は自分の担当の仕事に積極的に取り組みました。楽しかったです。

中学2年 O・M

ステパノまつり、本当に楽しかったです。

私は受付をやったんですが、色々な人とお話をできてすごく楽しかったです。私は人見知りですが、なぜか今日はすごく笑顔で受付ができました。ステパノの子たちはすごく優しい子たちがたくさんいるので、ステパノの周りの人たちも優しくなるのかなと思いました。U君とかYちゃんとか、S君のお母さんたちも来てくれて、「Mちゃん！」と言ってくれました。すごくうれしかったです。すごく楽しくて、いい思い出が増えました。

中学3年 O・T

今日は、最後のステパノまつりがありました。朝から準備で大忙しでした。仕込み中にオープニングコールが近づいていたので焦りました。

まつりが始まると人が来たので忙しかったです。飲み物に2人いると、全然効率が違いました。終わりが近づいていくと売り切れが多くなりました。終わると、リハーサルをやって片付けに入りました。4年ぶりのまつり、良かった！ありがとう。



中学3年 A・K

今日は、4年振りの「ステパノまつり」を行いました。僕は劇の司会と大道具の裏方をやりました。司会をやるのは初体験だったので、とてもよかったです。卒業生も来てくれたし、終わった後には、卒業生のA君とY君が大爆笑していました。もう僕にとってステパノまつりは最後だったので、とてもいい経験になりました。





事務長の佐藤雅美さん
にお話を伺いました。

— 本校に長くお勤めと伺いました。

「今年で勤続二十年目になります。さまざま
なつながりを辿っていくと、導かれて来たの
だと感じる事が多くあります。何度かの転
職の後に本校にご縁がありました。私自身
も大磯町の出身で、子どもの頃は、仏教の家
庭ながら、近所の方のご縁で大磯キリスト教
会の日曜学校に通っていました」

— 業務内容は多岐に渡るとお見受けします。
「受付の窓口対応から理事会の開催まで、一
般企業の労務、経理、人事に相当するような
幅広いものです。特に学校会計は特殊で、初
めは学ぶことが大変でした。」

窓口では、多くの方との出会いがあります。
色々なものを抱えて来校された方に、最初の
対応で緊張感なく心が和らぐようにしたいと
いう思いでいつも接しています。どの方も、
初めて来校された時のことを覚えていますが、
入学後に、子ども達、保護者の方々の表情が
柔らかくなる様子を見るととても嬉しくなり

ます。

学校という職場は、子ども達、先生方、保
護者の方と、幅広い年代や立場の方との出会
いがあることが魅力です。子ども達の正直で
真直ぐな発想からヒントをもらうことも多く、
いろいろな人の意見を取り入れて、より良い
ものをつくっていききたいと常に思っています」

— 事務長になられて変化はありましたか。

「私は、本来は縁の下の力持ちというタイプ、
事務長としての重責を感じることもありませ
が、不可能だと思ったことも、やり遂げなけ
ればという思いで成長できるのだと思います。
さまざまな出会いから自分の変化を感じます。」

小川正夫前学園長との出会いも大きなもの
でした。今も、来校者に校内をご案内する時
には、小川先生のお話をしながら、先生がデ
ザインされたスタンドグラスをご紹介するな
ど、繰り返し先生のお話をお伝えするように
しています。また、理事会などで、自分より
上の世代の方々との関わりも多くありますが、
経験値の高い方々と相談をしながら業務を進
めることができ、ありがたいと感じています。
諸先輩方から脈々と受け継がれてきたものを
大切に伝え続けていきたいと思えます」
保護者として初めて本校を訪れた時、佐藤
事務長が穏やかに温かく迎え入れてくださっ
た姿が印象に残ります。現在大学生のお子様
と共に東南アジアへの旅を楽しまれ、穏やか
な時間の流れでリフレッシュされるそうです。
改めて、多くの方のお支えに感謝しました。

STEPHEN'S NEWS

スクスタのつぼくんカップ神奈川
横浜根岸大会7月
準優勝 十二歳以下の部
日本漢字能力検定
七級合格 小五 O・Y
实用数学検定
五級合格 小四 T・Y
日本情報処理検定
三級合格 小六 H・N
中三 S・S

【陸上競技部】

第三十二回中郡陸上競技選手権大会

中学男子八〇〇メートル 第三位 S・H
第四位 K・S
第六位 O・T

中学男子四×一〇〇メートルリレー
第三位 K・S O・T S・H M・R

中学男子砲丸投 第一位 K・S

中学男子走幅跳 第三位 M・R

中学女子一〇〇メートル 第五位 A・M

中学女子二〇〇メートル 第二位 A・M

神奈川県私立中学校陸上競技大会

男子二・三年砲丸投 第六位 K・S

中郡中学校総合体育大会 陸上競技の部

男子四〇〇メートル 第二位 S・H

男子八〇〇メートル 第三位 O・T

男子一五〇メートル 第三位 S・H

男子砲丸投 第一位 K・S

男子低学年四×一〇〇メートルリレー
第一位 I・N Y・T Y・T N・O

女子二〇〇メートル 第二位 A・M

【編集後記】朝晩が涼しくなり、秋めいてき
ました。2学期はまだまだ行事が続きます。
体調第一で乗り越えて欲しいです。(ひ)

発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

校長 佐藤 紀明

ステパノだより編集委員会

〒255・0003 神奈川県中郡大磯町大磯868

TEL 0463・611・1298

FAX 0463・611・9739

<http://www.stephen-oso.ed.jp>

二〇二三年十月十七日(火) 発行第280号